（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

十九日夕刊

# 磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

## 二十一日の町會は 二日間續行せん

### 最も興味ある問題は 選擧異議の申立か

平町會議員改選後の初町會は二十一日召集さるゝ事既報の如くであるが當日の提案事項は特別稅戶數割賦課の件、家屋賦課の件、委員選任の件、選擧異議の申立に關する件等であるが選任する委員は土木委員、第三小學校新築委員、第四小學校新築委員、平町役場新築委員等で之等は全部町長推薦による筈である、家屋稅並に特別稅戶數割は委員附托となり前者は二十五日迄後者は三十日までに決定する筈で、最も興味ある問題とされてゐるのは選擧異議申立の件であるが之は委員附托になるであらうと察せられてゐる、何れにしろ二十一日一日間では審議の時間がないので二十二日まで本會議を續行するに至るであらうと察せられてゐる

## 勿來神社に 敷地寄附

既報勿來の關は田中智學師に依つて八幡太郎義家公の靈廟が建立されることになつたが地元勿來町民は協贊會を組織し同靈廟を勿來神社とすることになつたこの工費は實に百萬圓で全部田中師が行脚して全國から寄附を募ることゝし目下陸海軍將官級を歷訪し寄附募集に着手したが豫定通りに寄附募集が出來ればなほ一方茨城縣多賀郡大津、平潟、關本各町では聯合して後援會を作り去る十七日關本町に於て協議會を開いた結果將來同靈廟をして官幣者に昇格せしむるため內外苑を作るため敷地山百町歩を寄附することになつた。

## 密かに計劃中である 石城片濱の電鐵

### 磐城海岸軌道を買收か 路線は泉、江名、夏井、平

小名濱商港の實現と共に石城郡內の產業は各方面に於て好影響を受けることになつたが殊に片濱方面の水產業に取つて平小鐵道の開通と共に至大の便宜を與へるものと見られる故に同方面の貨物運輸と旅客の交通は自然增加となることは明かなため磐城海岸軌道會社では早くも電化を企圖し大阪阪神電鐵と或種の交渉中であることは既報したが同方面の交通に着目した大阪に本社を有する日本電氣事業株式會社では常磐線泉驛を起點として小名濱、江名、豐間、高久、夏井を經て平に通ずる即ち片濱電鐵を計劃し目下海岸軌道との關係から極密裡に調査をすゝめて居るが右電鐵は全然縣道に敷設せず別個の路線に新設する計劃で資本金百萬圓となつて居りこのこの電鐵は實現と共に省線とにこの電鐵は實現と共に省線法規による私有鐵道とし自由に省線と連絡出來る施設をするもので非常な使利となる、同電鐵が實現すれば片濱の一般運輸交通は非常に惠まれることになるので關係筋では頗る期待して居る、なほ全部の計劃が出來上がれば現在の海岸軌道を買收して直に着工するものと豫想されて居る。

## 水道の節約

### 平町民へ注意

平町役場では近來暑氣が加はるに隨つて水の使用者が著しく增して來たので全町水道使用各家庭に對し水の節約と調節を計る樣十八日注意を促した。

## 平驛 今月中に竣工

### 一ヶ月十五萬人の旅客を呑吐す

平町の常磐線屈指の平停車場は工費五万圓を投じ平町丸山組の請負にて新築工事中であるが本月一杯には竣工する筈で大平町の關門としてモダン的な頗る相應しい廳舍が出現一般客も近く好感を與へるであらう。

## 平町花澤輝一氏が 竹馬で富士登山

### 天下の一大壯擧として 東京日日新聞で應援

平町白銀町花澤輝一氏は竹馬で富士登山を計劃し準備中であつたが愈々七月二十四日決行する事になつた、當日は平町から三十余名の隨行あり審判員として東京日日新聞社で特に社員二名を派し傳書鳩その他を使用して大々的の宣傳をしてくれる事に決定した。午前四時山麓を發し夕刻まで頂上に達する豫定で天下の一大壯擧と言はれてゐるが漁業には方强い指針となるため同線の完成は非常に期待されてゐる尙工事完成は十月頃となる豫定である。

## 鹽屋岬の 無電工事

### 廿二日横濱で入札

本年度工事として石城郡塩谷岬燈臺の無線電信所はいよ／＼設置することになりこの程全部の測量設計が出來上つたので來る二十二日横濱市に於て工事入札を行ふことに決定したが總工費は二十一萬圓である。

なほ工事內容は現在の燈臺に接續して鐵筋コンクリート建で內部は發電室、蓄電池室、配電盤室、受信室、送信室等に區劃され電信鐵塔は高さ二十米で現在の霧笛信號の南端に建設され海面からの高さ實に百余米突である、據付電動發電機は二百ボルド五十サイクル三相交流誘導電動機七、五馬力一臺及び百ボルト五十サイクる單相交流誘導電動機五馬力一臺であるが其の他の各機械とも何れも最近模式のものゝみてあるが全部完成すれば眞に全國有數の大燈臺としての設備を備へることになり太平洋航路の各船舶には非常な便利となり殊に近海航路と遠洋漁業には方强い指針となるため同線の完成は非常に期待されてゐる尙工事完成は十月頃となる豫定である。

## 捕鯨船春陽丸で遭難

### 江名沖 救助の信號を發し 乘組員一同救はる

小名濱町東洋捕鯨株式會社捕鯨船第二春陽丸（百二十四噸）が十七日午前四時二十分頃小名濱築港を出帆し十八日歸港の途中午後七時三十分頃江名町大字江名字折戶沖一浬の地點で濃霧のため方向を誤り暗礁に乘りあげたので船底を破損し浸水したので備付けの無線電信を以て救助を求める信號を發したゝめ、之を聞きつけた江名漁業組合では直ちに同町消防組員を招集し現場に至り乘組員船長岡山富英外十三名を救助し午後十時江名海岸に上陸せしめたが、暗礁に乘り上げた船体はそのまゝとし今十九日同船の荷物を下ろした上艘船を以て同船を暗礁から引き下ろす事になつた。

▲山田の火事　石城郡山田村字宮下農澤田靜男方から十七日午後四時半ごろ發火し同家及び隣家なる蛭田金吉方住家三棟非住家三棟を全燒同五時鎭火した原因竈室の不始末から損害約三千圓。

## 平全町の 竈檢査

平警察署では最近平町に火災が頻々と起るので平消防組並に平火防組合の應援をうけて十九日平全町の竈の檢査を行つた。

▲四倉市場取引　四倉市場十八日の取引は白繭二千六十貫、最高八十六圓、最低六十一圓、平均七十九圓黃繭二百二十六貫、最高七十六圓八十錢最低六十五圓七十錢、平均七十三圓五十錢である。

## 植田繭市況

### 氣合特合模樣

植田繭市場十七日の取引相場は白繭最高八圓二十錢で買馴七圓六十七錢氣配は保合の模樣であつたが今十九日頃より最盛期に入るらしく各社漸く買ひ樣子である。

## 小玉川水利權 讓受認可申請

平電氣會社では過般石城郡小玉川水電と合併したので十八日舊小玉川の既得水利權讓り受の認可申請を縣經由で主務省に提出した。

▲內鄕村賭博　石城郡內鄕村佐藤一郎（四〇）外六名は去る十七日午後十時ごろ佐藤方において花札を以て現金かけ賭博中取押へられた。

### 同業消息

▲東京日日新聞　杉本信一郎氏飯坂溫泉に開かれた編輯會議に出席し十八日歸平。

▲東京朝日新聞　淺野惠四郎氏

痔の高級內服藥
「ダイサン錠」
平五山野邊藥局

茨城縣大洗海岸に開かれた社員懇親會に臨み靜養の上十八日歸平。

▲福島每日新聞　馬場常氏、丸清旅館の下宿を引拂つて一戶を構ふ。

## ハガキ集

### 投書歡迎

▲新田町の藝妓で二人、一人は二十歳前、一人は年增、田町から南に來た街の藝妓が一人都合三名が姙娠中です、さあ誰れでせう、當てゝ下さい。（藝妓の先生）

▲〇丁目の中學生さんよ、あまり素人娘を新川畔に引つぱつて行くんぢやないぞ、連れて行つても好いから眞直ぐにたけしておけ（注意生）

# 俳句片々（九）

曲水雜詠　三木谷鵑子選

× ×

山畑の蓋飾菜の花こぼれけり　麥草

落葉山霧あげて梅咲きにけり　東洋

× ×

水の上にとぶ蝙蝠や春の月　同

春月が晴空高く澄み渡つてゐる事、廣々した無限の湖上に何の物影が水邊に映じた事、其の外に動的な觀察が靜かな湖面に見受けられなかつた。寂たる夕景に蝙蝠の二三羽、飛び交ふてゐる。夕景が印象深く連想されてある。

此の立体的句趣は蝙蝠の動的觀察が本意となり、「春月」や「水の上」は任意の立体であるにせよ、明瞭に立場が木質と共に一段の光彩がある。

我家灯るを遠く見てゐる田打かな　吳竹

「遠く見てゐる」此處に農家多忙の觀察が欠けてある樣に思はれる、十七文字（標準規定）に解釋を容易ならしむる爲めに、多忙な實感を連想させるには、何處までも多忙に描かせねばならぬのであるが「見てゐる」とは充分に余裕があると云はれても致し方がなく、夕霧の中に我が家の灯の点いた觀察は無難だが、「ゐる」の付句を他に訂正みたいと感じたのであつた。

水に觸れば萱搖やすき余寒かな　春鳥

觸れゝば危ぶないと知りながら、觸れてみたいのが人心である、どもすれば動き易き立体凝人法。

× ×

大風の空に富士澄む二月哉　匏生

× ×

鳥雲に入るばかり子等の唱歌かな　峻峰

「鳥雲に」春の日明聲語であり「入るばかりなり」は矢張り立法に基標した觀察が生じて來る事は必定である。「子等の唱歌かな」はのんびりとした野邊に唄つたものであらう。句の變化と觀察の着眼に始終運ばれてある。

× ×

春曉の枇杷に明るき山雨哉　鷹月

春雷や浮びしまゝの蛙の子　猪水

花風に鷄鬪へる遲日かな　石潦

## 時報文藝

◎初夏の日　平一　出羽武雄

立ちこめてゐた霞も、やうやく晴れたらしく、寢てゐた部屋が明い、喜んで外へ出て見たらうゝかな初夏の光が快よく体にあたる、屋根に陽炎がヂラツク頃急いで家を出て廣々としたスカに出ると、第一目に映するのは青々とした大海原に汽船が悠然と二そう列んで走つてゐる。僕はスカの上寢轉んだ。ほんとに初夏の日は暖い、僕はこうしてスカの上に寢轉んでゐると、まるで天國にでもゐる樣な氣持になつて何にもかも忘れてしまう、ふと起き直つて見ると遙か遠くの山々は、まだ霞は晴りきれず夢の樣に浮いてゐる僕は又寢轉んで、上を見なる空は靑く澄んで僕の心は吸ひこまれる樣であつた。


大塚製靴　良品大賣出
磐城無尾商會
町田橋北詰
△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△越味ノ貯蓄
△誠意ト堅商
△縣內
△至ル所取ニ所ル
△何時デモ申込下サイ
△絶エズ商品ヲ蒐リマス

鳥季節御料理
柳川
舞子丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町平舘隣り
鰻蒲燒魚榮
電話四二四番

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

胃腸
內科
專門
十二指腸虫病
淋病
婦人病
皮膚病
梅毒
專門
松村胃腸性病科醫院
（平南町　電話一〇七）

ナツフク
小學生
一年生　八十錢
二年生　九十錢
三年生　一圓
四年生　一圓十錢
五年生　一圓貳十錢
中學生
一年生　貳圓四十錢
二年生　貳圓五十錢
三年生　貳圓六十五錢
四年生　貳圓七十五錢
五年生　貳圓八十五錢
平町四丁目停車場通
正札堂

外科
外科一般
耳鼻科
花柳科
婦人科
婦人科
產科
內科
X光線科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

綠したゝる初夏!!
かるく涼しく　丈夫な白靴
▲弊店獨特……白革底
自製品A……六、〇〇
B……七、〇〇
靴の御用は……形ト仕事ト
安價デ……確實な
平田町
大塚支店製靴部へ
電話七〇二番

治淋新劑
強タカジリン
（定價一圓、二圓、三圓）
として奏効頗る顯著而も副作用絕無、廣く賞讃さるゝ所以也
平町一丁目
特約店　大平屋藥店
電四六二番

名題　尾上菊三郎　音羽多見丸
讀者觀劇券　大一座
（此券持參の方は金十錢）
六月十八日より　聚樂館で
磐城時報社發行
切取線

器械新設　体溫計無料檢査
皆樣のお手元まで御覽に入れました引札の如く今回最新優秀なる檢査器を設置し無料で檢査いたしましから御遠慮なく御持參を願ひます。
（檢査日　毎月十日）
平町二丁目（電話三番）
指定販賣所　西村屋藥舗

眞に恐るべき
動脈硬化症
中風に腦溢血を
◆いかにして豫防するか
◆いかにして治療するか
平町田町宇佐美藥劑士に相談下さい
電話八二七番です
◎中風根治藥◎
定價二圓八十錢
京都桂屋の家傳

醬油と味噌
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番　一般用四二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番